

令和2年度(2020年度)公共事業再評価調査

基準年月日 令和2年8月1日

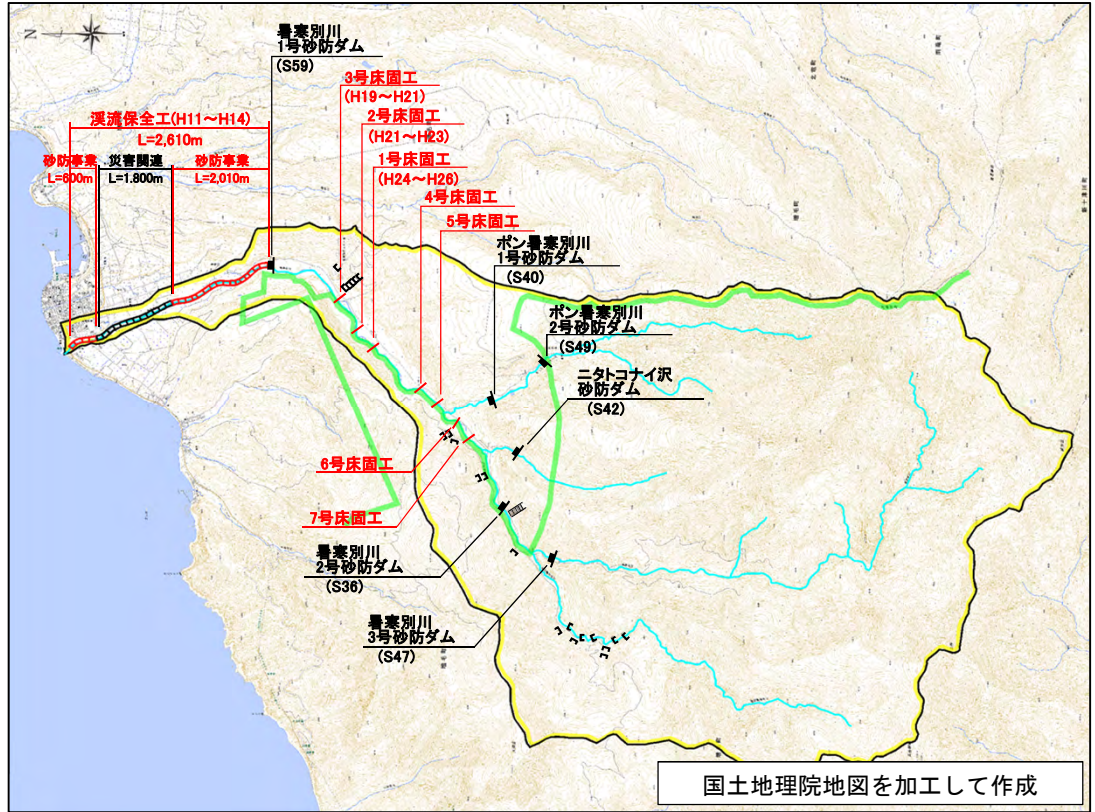
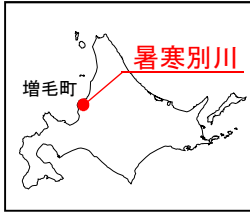
Table with multiple sections: I. 基本事項 (標準日時点), II. 公共事業評価経過, III. 事業採択前の状況, IV. 事業の実施状況. Includes details on project costs, progress, and economic effects.

V 評価														
1. 必要性	<p>●本事業は、土砂災害から地域住民の生命、財産を守ることが目的であり、その事業効果が大きい。また、今後の出水により下流域への土砂流出が懸念されるなど、土砂災害が発生する危険性が高いことから、事業の必要性に変化はなく、事業を継続して推進する。</p>													
	<p>a a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある</p>													
2. 事業を推進する上での課題	<p>(1) 環境上の配慮及び課題</p> <p>●当該溪流は、保護水面に指定されていることから、下流溪流保全区間においては、現況河道を極力活かした線形や河床高とし、護岸工は植生が早期に回復可能な構造とするとともに、水制帯工は現地発生材の巨礫を活用し、魚類等の遡上にも配慮した構造としている。また、床固工については、スリット構造を採用し、水生生物の移動に配慮するとともに、極力河畔林を保全するなど自然環境に配慮した構造としている。 ※H22年（2010年）以降、当初計画のコンクリート堰堤工の堆砂域にはエゾサンショウウオや貴重植物が確認されていることから、堤高の低い床固工を4基配置することとし、構造型式も、サクラマスの産卵床への影響を考慮して鋼製自在枠工に変更している。</p>													
	<p>(2) 事業推進に対する住民の動向</p> <p>●増毛町から事業の早期完成に向けて毎年度要望が出されている。</p>													
	<p>(3) その他の課題</p> <p>●特になし。</p>													
3. 事業達成の見込み	<p>現状では事業進捗に大きな支障となるものはなく、事業は順調に進捗していく見込みである。</p>													
	<p>a a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される</p>													
4. 対処方針	<p>事業の必要性に変化はなく、増毛町から早期完成の要望も受けているため、R8年度（2026年度）の完成を目指し、事業継続する。</p>													
	<p>a a：継続 b：終了 c：休止 d：中止</p> <table border="1"> <tr> <td>事業期間の変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業費の変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業内容変更の有無</td> <td>目的・規模等に係る変更</td> <td>左記以外の変更</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>無</td> <td>無</td> </tr> </table>	事業期間の変更の有無	有	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更	左記以外の変更						無
事業期間の変更の有無	有	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更	左記以外の変更								
					無	無								
VI 備考														
1. 評価履歴	<p>再評価： H17年度（2005年度）実施 評価結果： 継続（変更なし） B/C=5.19 再評価： H22年度（2010年度）実施 評価結果： 継続（変更なし） B/C=3.08 再評価： H27年度（2015年度）実施 評価結果： 継続（変更なし） B/C=3.07</p>													
2. その他の取組事項														

補足資料

VII 事業計画変更						（単位：百万円）						
事業期間	再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事業期間	事前評価 又は当初	H8 (1996)	H11 (1999)		H19 (2007)	24	事業費	4,200	2,100			
	変更①	1回目	H11 (1999)	H11 (1999)	H21 (2009)			4,419	2,209.5			
	変更②	2回目	H11 (1999)	H18 (2006)	H26 (2014)			5,039	2,519.5			
	変更③		H11 (1999)	H25 (2013)	H27 (2015)			5,050	2,525			
	変更④	3回目	H11 (1999)	H27 (2015)	H31 (2019)			5,410	2,705			
	変更⑤		H11 (1999)	H28 (2016)	H33 (2021)			6,358	3,179			
	変更⑥	4回目	H11 (1999)	R2 (2020)	R8 (2026)			7,592	3,796	460	6,614	87%
	変更⑦											
	変更⑧											
	変更⑨											
変更⑩												
変更理由・内容		<p>変更①：事業費の変更及び事業期間の延伸 H11年（1999年）7月の豪雨出水により、土砂・流木が流出して河道内に堆積し洪水氾濫が発生した。このことにより、家屋や果樹園などの農地、リバーサイドパークなどの観光施設などに多大な被害を与えた。また、既設護岸も被災したため、護岸被災の著しい区間の整備を災害関連事業（H11年（1999年）～13（2001年））で実施。また、上流域の荒廃が拡大したことより砂防堰堤、床固工の追加による。</p> <p>変更②：事業費の変更及び事業期間の延伸 当該流域は、「霧寒別・天売・焼尻国定公園」内に位置し、溪流は保護水面にも指定されているため環境調査を実施したところ、溪流内にサクラマスの産卵床が多数確認されたことから、産卵床保護の観点から砂防施設の構造形式をコンクリート構造から浸透流を遮断しない鋼製自在枠構造への変更による。</p> <p>変更③：事業費の変更及び事業期間の延伸 土砂搬出運搬距離の増による。</p> <p>変更④：事業費の変更及び事業期間の延伸 当初計画のコンクリート堰堤工の堆砂域にエゾサンショウウオ、貴重植物、サクラマスの産卵床が確認されたことから、堰堤工2基に代えて鋼製自在枠による床固工4基への変更などによる。</p> <p>変更⑤：事業費の変更及び事業期間の延伸 詳細設計の結果より、床固工の形状変更及び導流堤の延伸及び残事業量により事業期間を精査したことなどによる。</p> <p>変更⑥：事業費の変更及び事業期間の延伸 床固工の中詰材や導流堤に流用する材料を選別するための粒径処理の追加及び残事業量により事業期間を精査したことなどによる。</p>										

暑寒別川 通常砂防事業（社会資本整備総合交付金）



凡 例	
	流域界
	溪流
	計画砂防施設
	既設砂防施設
	道有林
	既設治山施設
	計画溪流保全工
	溪流保全工

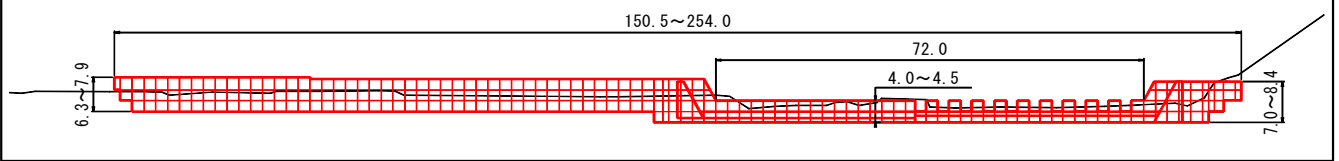
事業の目的

- 土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などを守るため、砂防設備の整備を行う。
- H6年(1994年)5月の融雪出水及びH11年(1999年)7月の豪雨出水により、多大な被害が発生したほか、流域内が荒廃したため、次期出水により下流域への土砂流出が懸念される。
- 溪流保全工、床固工の整備を行い、人家や公共施設などを土砂災害から守ることを目的とする。

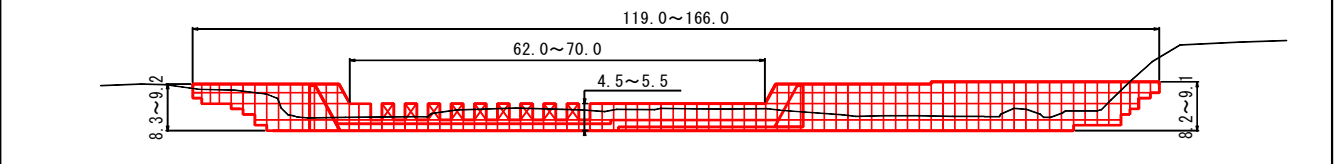
事業概要

暑寒別川通常砂防事業は、土砂災害から地域住民の生命、財産、公共施設などを守るため、砂防設備(溪流保全工、床固工)の整備を行うものである。

1号～3号床固工



4号～7号床固工



溪流保全工

